

新庁舎基本計画素案の町民説明会を4地区で開催しました

新庁舎建設の現在の検討内容を町民の皆様へご説明するために、7月5日から7月11日にかけて、町内4地区で新庁舎建設基本計画素案についての町民説明会を実施しました。説明会では、渡邊新庁舎整備室長がスライドや配布資料を用いながら、素案概要や新庁舎機能のイメージについて説明しました。参加者からは、「今の駐車場は狭いが、新庁舎では何台分か」「必要な機能に絞り込み、費用の低減を」等、活発に質問や意見が出されました。(質問・意見等については、裏面に掲載。)



また、説明会と併せて実施しているパブリックコメント(7月5日～19日)についても、17日午後の時点で、数件のご意見をいただいています。

新庁舎に必要とされる具体的機能や面積等について定める「桑折町役場新庁舎建設基本計画」については、今回の説明会及びパブリックコメントでいただいたご意見や、4月から5月にかけて行った町民アンケート及び意見募集の結果を踏まえながら更に整理を行い、8月初め頃を目標に策定を進めていきます。

新庁舎コラム「ワンプレイス・ワンフロア・ワンストップ」

新庁舎建設基本計画素案の6つの理念のうち、2つ目の「町民すべてに優しく気軽に訪れやすい庁舎」では、「行政機能の集約」を項目の1つとして掲げています。

計画素案では、ワンプレイスとワンフロアの実現を目指しており、ワンストップの実現性についても検討を進めます。

ワンプレイス・・・1つの場所(建物)で、用件を済ませられること。

例：新庁舎内に、戸籍、税、福祉、教育、水道、道路、農業等を含むすべての課を集約

ワンフロア・・・1つの階で、用件を済ませられること。

例：新庁舎1階に、戸籍、税、福祉等を含む相互に関連の深い課を集約

ワンストップ・・・1つの窓口等で、用件を済ませられること。

町民説明会での主な質問・意見

7月5日から7月11日までの町民説明会でいただいた、主なご意見を紹介します。

質問・意見	回答
○構造・災害対応について	
Q. 庁舎には免震構造を採用するのか。	A. 免震構造を採用するかどうかは、設計業者の技術提案を受け、基本設計の段階で決定する。
Q. 庁舎内で一時避難者用の炊き出しはできるのか。	A. 炊き出しをする場合はやすらぎ園の調理室を利用する想定としている。
Q. 基礎工事も十分に考慮しているか。	A. 桑折の地盤は扇状地で柔らかいので、ボーリング調査を実施しつつ、適切な対応を進めていく。
○諸機能について	
Q. 庁舎の集約に賛成。どの機能(課)を新庁舎に集約する予定か。	A. やすらぎ園及びイコーゼの事務機能部分を集約したい。やすらぎ園の保健福祉センター機能、イコーゼの公民館機能は変わらない。
Q. 現庁舎の駐車場は狭い。新庁舎の駐車場は何台分の予定か。	A. 来庁者用として100台を想定している。
Q. 1台あたり駐車スペースを広めにしてほしい。	A. 思いやり駐車場の設置も含め、1台あたり区画を広めにと考えている。
Q. 食堂の設置は考えているか。	A. スペースや利用人数等の課題があるので難しい。自動販売機や休憩スペースの設置は検討している。
Q. 地下階を設置し、備蓄倉庫や書庫等にしては。	A. 地下階はかなり費用がかかる。庁舎本体に設置しなくてもよい機能は付属建物への設置を検討する。
Q. 屋上に展望スペースを設ける場合、太陽光パネルは視界を遮るのでは。	A. 展望所は設置可能性や場所を検討中。パネル設置の場合、低層屋根設置で維持費用を少なくしたい。
○業者選定・費用について	
Q. 基本設計業者の選定は実績を確認し、実力のある業者を選んでほしい。	A. 庁舎設計の経験のある業者は県内でも少ない。実績ある業者を指名プロポーザル方式で選びたい。
Q. 想定費用概算で免震分をまかなえるのか。	A. 想定費用概算は、免震を採用した市町村庁舎の実例をもとに試算している。
Q. 必要な機能に絞り込み、不要な機能を省いて費用を少なくしてほしい。	A. 必要な機能を見極めて検討を進めていく。
Q. 本体費用以外に、どれぐらい費用がかかるのか。	A. 外構工事等費用については、建物や配置の詳細が決まった後に算出可能となる。
○ソフト面等	
Q. 窓口等のサービス向上も検討してほしい。	A. 職員研修や、業務改善を実施していく。
Q. 現庁舎の跡地利用はいつから考えていくのか。	A. 早期に検討を進めていく。
○意見	
○石川町の新庁舎を視察したが、石川町のような必要な機能の揃ったシンプルな庁舎にしてほしい。	
○環境や地球温暖化に対する配慮が必要。例えば ISO14000 の取得などを検討してはどうか。	
○凍結による転倒防止のため、駐車場は庁舎の南側に設置すべき。	